

関東地区大分大学同窓・若手の会を開催しました(5月18日)

若手の同窓生にとって、広範囲な関東地区においては職域や個々の生活場所も広がっているため、思いはあっても同窓の横のつながりを意識する機会にはなかなか恵まれていないのが実情です。

この中で東京四極会の若手有志、佐々木準さん(2011年卒)、横山裕真さん(同)が学部の枠を超え、若手同窓生が一堂に会する場を作ろうと立ち上がりました。東京四極会はこの動きに支援イベントとして協賛する形で準備が進みました。呼びかけは若手のネットワークに託しました。

当日、5月18日(土)15時、千代田区丸の内会場に、若手会員30名(うち工学部4名、教育学部1名、留学生2名)、東京四極会役員9名、そして出張で東京に来られた母校の仲田准教授、かつて大学で教鞭をとられた薄上・青山学院大学教授も参加され、普段希薄になりがちな同窓の絆を参加者一同が再確認できました。「この会にでてきて何かホッとできました」というある参加者の声が、かなりの参加者の共通した思いではなかったかと思えます。早々に次回開催を11月に行う予告があつて大賑わいの中散会となりました。

東京四極会は若手が起こした新しい風に期待しつつ今回の若手会員の思いを従来の中継ぎ込んでいきます。

(写真:190518 大分大学関東同窓会)

